金高新聞

発行所
金沢市泉本町3-111
金沢高等学校
新聞部・文化委員会

校訓と教育理念

質実剛健の気風を高揚し
共に求める真理
共に育む友愛
共に尊ぶ礼節
共に鍛える心身

「よりよい学校へ」意気込み強く

～前期生徒会執行部始動～

平成30年度前期生徒会執行部役員は4月24日に選出された。今回2年生ながら前期会長に就任した神田会長をはじめ、メンバーは一致団結して朝のあいさつ運動等に取り組み、校内外で奉仕活動を行っている。

生徒に笑顔で挨拶をする執行部メンバーたち

12人の抱負を聞く

熱意あふれるスピーチで聴衆を魅了した神田会長は「生徒の要望に耳を傾け、それを学校全体で共有し、検討できるような体制にしていきたい」と2年生らしく意欲に満ちた様子で語った。

副会長の佐原君は「生徒が楽しく過ごせる学校にしたい」と語り、同じく副会長の中村さんは「生徒全員が共に楽しみ、共に喜ぶような学校にしたい」と抱負を述べた。

書記の大屋君は「生徒会のできる範囲で、生徒の要望を実現させたい」と述べ、同じく書記の大泉さんは「笑顔でマナーを守り、自立した生徒を増やしていきたい」と述べた。

会計の吉田君は「あいさつがしっかりできる学校にしたい」と語り、同じ会計の森さんは「笑顔とあいさつがあふれる学校を作りたい」と語ってくれた。

執行役員の西田さん、中島君、松田君、角崎さん、足立君は「生徒の手本になりたい」「活気をあふれさせたい」「個性のある高校に変えたい」などと各々の抱負を語った。

金沢高校の伝統を大切にしながら生徒の声に基づいた改革も行ってほしい。

平成30年度前期 生徒会執行部

■会長
神田　基成（2年1組）
■副会長
中村　愛佳（3年3組）
佐原　樹（3年7組）
■書記
大屋　和輝（3年9組）
大泉有理紗（2年8組）
■会計
森　彩華（2年4組）
吉田　成希（2年5組）
■執行委員
足立　大樹（3年9組）
松田　凪都（2年2組）
中島　広貴（2年5組）
西田　鼓（2年7組）
角崎　景南（2年8組）

主張

スポーツが持つ本当の意味

―「フェアプレー至上主義」を求める―

社会的に大きな波紋を呼んだ、日本大アメリカンフットボール部の悪質な反則問題。日大が設置した第3者委員会は悪質タックルが同部の監督らの指示によるものだと認定し、フェアであるべきスポーツの世界で、どうしてこのようなことが起きてしまったのか、連日議論が広がっている。

蔓延する勝利至上主義

その要因の一つには、スポーツ界にある「勝利至上主義」が浸透していることがあると思う。ロシアの革命家レフ・トロツキーは「何かが目的を正当化するかぎり、目的は手段を正当化する」という言葉を残している。勝利という目的に固執するあまり、フェアネスを捨てることが正当化されたことが、この事件を生んだのではないだろうか。

W杯が感動呼ぶ

しかし、スポーツの本来の目的とは、勝利することだけではないと私は思う。私自身の体験になるが、体育の授業でバレーのサーブがはじめて決まった時、ひたすら練習して得た技術が試合の中で活かせた嬉しさと充足感は普段の生活では味わえないものであった。その達成感や仲間との交流がスポーツの醍醐味なのだ。

また、先月から始まったサッカーのワールドカップでは、前評判に反して日本代表が奮闘し、日本中が大いに湧いた。監督が急に代わり、不安の声が上がる中、選手たちが試合を通じて成長する姿に、いつしかそのような声は消えていったように思う。多くの人が選手に愛着を持ち、一丸となって応援する姿が見られた。

スポーツをする中で得られる充足感や団結力、プレーの外で人々が繋がる応援の輪。そういったものは、スポーツでしか得られない価値であり、スポーツがこれだけ続いている理由でもあるのだ。しかし、「勝利至上主義」はこういったものをないがしろにしていく。選手は強さのみを求められ、試合はよりシビアに辛いものとなっていく。その果てには「スポーツを楽しむ」ことの終わりがあると私は思う。

今回の事件を機に、今一度スポーツの目的に目を向けていきたい。勝利ばかりに囚われることへの危険性を知り、フェアプレーこそが至上命題であるとの信念のもと、プレーヤーのみならず観戦者たちも一丸となって、本当の意味で楽しめるスポーツを造っていきたい。

（新聞部部長　仮坂　美香子）

校舎全面改築　今秋スタート

本校校舎の全面改築がいよいよスタートする。現在の校舎の敷地にある建物に加え、東側駐車場のスペースに新たな教室棟が設けられる。食堂や全面人工芝のグラウンド、ICT環境に対応した教室等の整備が改築の中心となり、工事開始から3年半後の2022年春に完成を予定している。

ICT環境を全教室に整備

計画によると、新校舎ではすべての教室にプロジェクターが設置され、Wi-Fi接続等によりインターネットの利用が可能な環境が整えられる。そのような教室で行われる授業はどう変わっていくのか、今後が非常に楽しみだ。

食堂の新設や人工芝グラウンド

さらに昼食の時間に生徒らが利用できる食堂が新設され、クラスや学年を越えて交流が生まれる憩いの場となりそうだ。

現在は正面から入ってすぐに校舎となっているが、完成後はまず人工芝となった緑のグラウンドが目に入る配置となり、開放感あふれる空間となる。

杉浦外美夫校長は「新たな時代の教育に向けて、教育の内容充実に合わせて環境面もしっかりと整えていくことが必要です。金沢高校での3年間が生徒にとってより良いものになるようにしていきたいと思います」と新校舎への思いを語ってくれた。

新校舎の外観図

金沢高校へようこそ 新任紹介

今年は新任の先生8名が着任された。今年の新任の先生方はユニークなエピソードをお持ちの先生方が多い。新聞部では先生方のことを知ってもらうため、インタビューを行った。

（カッコ内は教科・職員室）

間瀬　永二郎　先生
（地歴公民・第二職員室）

―趣味は何ですか？
読書です。いつも部屋と車の中に本を数冊おいて、同時に読んでいます。やはり教育に関しての本を多く読みます。

―金沢高校の印象は？
学校全体がとても明るく、よく挨拶してくれます。

―ご出身は？
大阪府阪南市です。和歌山県に近く、海がすぐ隣の田舎です。

―趣味は何ですか？
漫画を読むことです。「鋼の錬金術師」がお気に入りです。

―金沢高校の印象は？
個性豊かな生徒が多い印象があります。

桑原　昌宏　先生
（英語・進学指導室）

西　桂子　先生
（家庭・調理準備室）

―高校時代の思い出は？
合唱部での思い出が一番です。その時に一緒に頑張った仲間は40年たった今も交流があります。

―金高生にメッセージを。
皆さんのかけがえのない三年間を大切に過ごしてください。そして、宝物のような思い出をいっぱい作ってください。

喜多　桃子　先生
（国語・図書室）

―高校時代の思い出は？
部活のバスケットを頑張ったことです。

―趣味は何ですか？
スポーツ観戦です。特に高校野球が大好きなので、甲子園に連れていってもらいたいです。

―金高生にメッセージを。
授業以外でも声を掛けてくれると嬉しいです。楽しい高校生活にしましょう。よろしくお願いします。

鳥羽　椋也　先生
（理科・生徒会指導室）

―ご出身は？
静岡県静岡市です。お茶とみかんとわさびが有名です。

―趣味は何ですか？
スノーボードやアコースティックギターです。音楽ではback numberが好きです。

―金高生にメッセージを。
高校時代にいい思い出をたくさん作ってください。

薮内　竣平　先生
（地歴公民・保健環境室）

―高校時代の思い出は？
部活動の野球に毎日励んでいたことです。ポジションはキャッチャーでした。

―金沢高校の印象は？
温かみのある大好きな学校です。

―金高生にメッセージを。
お互いに充実した毎日を送れるように頑張っていきましょう！

榎本　紀葉　先生
（保健体育・生徒指導室）

―高校時代の思い出は？
シンクロナイズドスイミングで3年間国体選手でした。今でも「陸より水」派で、3kmなら走るより泳ぐ方が好きです。

―趣味は何ですか？
スポーツ観戦や筋トレです。

―金沢高校の印象は？
私も本校の卒業生ですが、皆さんの挨拶はいつもキラキラしていると思います。

Soul魂

県高校総体特集

県高校総体は５月から６月の期間に県内各地で行われ、各部、同好会の選手たちが熱戦を繰り広げた。

男子・女子テニス

団体 男女で栄冠つかむ

県高校総体男子テニス競技は5月31日から6月3日にかけて、城北テニスコート等で行われ、本校男子テニス部は団体決勝で泉丘に勝利し、2連覇を飾った。個人では宮永竜聖君（3年4組）が準優勝、個人ダブルスでは北市貴裕君（3年9組）・宮永君ペアが優勝という結果を収めた。

部長の佐藤駿矢君（3年10組）は「引退がかかった大きな大会だったため、3年生の試合にかける思いのすごさを感じました。優勝という結果は、これまで全力で部活動に励み、たくさん涙を流したからできたことだと思います」と振り返った。

インターハイ出場を決めた宮永君

【県高校総体結果】
◇団体
2回戦　金沢 3−0 小松
3回戦　金沢 2−0 小松工
準決勝　金沢 2−0 星稜
決勝　金沢 2−0 泉丘
◇個人シングルス
準優勝　宮永竜聖（3年3組）
川尻虎南（3年3組）3位
佐藤駿矢　ベスト8
◇個人ダブルス
北市・宮永ペア　優勝
川尻・松本涼（3年4組）ペア　準優勝
宮井大空（3年9組）・源侑悟（2年7組）ペア　ベスト4
長田郁也（3年11組）・高木優（3年2組）ペア　ベスト8
佐藤・高坂真智（3年9組）ペア　ベスト8

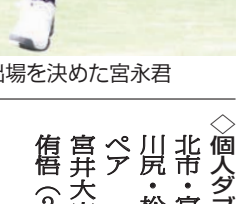
【北信越大会結果】
◇団体
1回戦　金沢 3−0 藤島（福井）
準々決勝　金沢 0−2 富国大付（富山）　ベスト8
◇個人シングルス
宮永竜聖　ベスト8
◇個人ダブルス
宮永・北市ペア　準優勝

初優勝に輝く

同じく本校女子テニス部は団体戦で初の優勝をおさめ、個人戦は久保友莉佳さん（2年4組）が制し、2連覇を成し遂げた。

部長の須藤弥優さん（3年2組）は「団体戦で初優勝を決め、インターハイへの出場権を得ました。そして今度はインターハイでの優勝という大きな目標に向かって、部員全員が一致団結し日々練習に励んでいきます」と語ってくれた。

【県高校総体結果】
◇団体
2回戦　金沢 2−0 小松明峰
3回戦　金沢 2−0 金大附属
準決勝　金沢 2−0 小松
決勝　金沢 2−0 北陸学院　優勝


圧倒的な強さで優勝した久保さん

【北信越大会結果】
◇団体
1回戦　金沢 3−0 高志（福井）
準々決勝　金沢 2−0 水橋（富山）
準決勝　金沢 0−2 松商学園（長野）
3位決定戦　金沢 0−2 富国大付（富山）　4位
◇個人シングルス
久保友莉佳　優勝
吉田奈央（2年4組）　3位
北川李美（2年8組）　3位
◇個人ダブルス
北川・関野未知留（2年6組）ペア　準優勝
久保・吉田ペア　3位

ソフトボール

6年連続8度目V

安定したピッチングを見せた中田さん

県高校総体ソフトボール競技は6月2日、3日に金沢市専光寺ソフトボール場で行われた。本校ソフトボール部は6年連続の優勝を果たした。

部長の藤井美月さん（3年2組）は「苦しい場面が続きましたが、全員で守り切り優勝を勝ち取りました。残り2ヵ月、日本一に向かってさらに練習を積み重ね、全国でこの喜びを全員で味わいます」と抱負を語った。

【県高校総体結果】
2回戦　金沢 10−0 大聖寺
準決勝　金沢 7−0 金沢西
決勝　金沢 1−0 津幡　優勝

接戦制し北信越優勝

【北信越大会結果】
1回戦　金沢 8−0 富山東（富山）
準々決勝　金沢 12−2 長野商業（長野）
準決勝　金沢 4−1 門前
決勝　金沢 5−4 滑川（富山）　優勝

剣道

女子団体優勝 中村インターハイ決める

個人戦を制し全国大会出場を決めた中村さん

県高校総体剣道競技が5月31日から6月2日にかけて羽咋体育館で行われ、女子は団体が優勝、個人では中村結乃さん（2年12組）が1位に輝き、インターハイ出場を決めた。

女子部長の横井杏奈さん（3年10組）は「16人全員が一つになれたからこそ、インターハイの切符を掴むことができました。支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、全国ベスト8を超えられるように頑張ります」と語ってくれた。

【県高校総体結果】
◇男子団体
2回戦　金沢 4−0 金沢桜丘
準々決勝　金沢 5−0 泉丘
準決勝　金沢 1−2 桜丘
◇男子個人
指本勝希（3年6組）5位
山田幸之介（2年7組）5位
清水周泰（2年10組）5位
◇女子団体
2回戦　金沢 4−0 金沢桜丘
準々決勝　金沢 1−0 星稜
準決勝　金沢 2−0 羽咋
決勝　金沢 3−2 桜丘　優勝
◇女子個人
中村結乃　優勝
塩野海瑠（2年11組）5位
吉村香澄（2年12組）5位

【北信越大会結果】
◇女子個人
吉村香澄　3位

柔道

男女共に団体3位

果敢に攻める松井さん（右）

県高校総体柔道競技が5月31日から6月2日にかけて県立武道館で行われ、本校柔道部は男女共に3位となり、北信越大会の出場権を獲得した。個人では、松井那菜子さん（3年3組）、大和田理楠さん（3年10組）が優勝し、インターハイに駒を進めた。

主将の石井麗純君（3年10組）は「団体優勝という目標を達成することができませんでしたが、上位大会では全力で試合をします。応援よろしくお願いします」と熱く語った。

【県高校総体結果】
◇男子団体
2回戦　金沢 5−0 能登
3回戦　金沢 5−0 金大附属
準決勝　金沢 0−3 鶴来　3位
◇男子個人
▼60kg級
安井遥哉（3年10組）5位
▼66kg級
関軒楽生（2年12組）2位
▼73kg級
草間康生（2年12組）7位
▼81kg級
粂田将永（3年10組）3位
▼100kg超級
橋高義人（1年12組）3位
◇女子団体
準決勝　金沢 0−2 津幡
北信越代表決定戦　金沢 3−0 小松矢谷
◇女子個人
▼52kg級
山崎朱音（2年10組）準優勝
▼57kg級
山出愛結（2年7組）準優勝
▼70kg級
松井那菜子　優勝
▼78kg級
大和田理楠　優勝
▼78kg超級
入口紫緒里（2年11組）3位

【北信越大会結果】
◇男子個人
▼100kg超級
橋高義人　5位
◇女子個人
▼52kg級
山崎朱音　3位
▼78kg級
大和田理楠　3位

自転車競技

総合3位 北信越出場決定

コースを疾走する谷村君

県高校総体自転車競技が5月31日から6月1日にかけて、県自転車競技場で行われ、本校自転車競技部は総合成績で3位となり、谷村晟幸君（2年10組）が個人種目で北信越出場を果たした。

【県高校総体結果】
◇トラック競技
▼スプリント
谷村晟幸　3位
▼1kmタイムトライアル
谷村晟幸　2位
▼3kmインディヴィデュアルパーシュート
谷村晟幸　優勝
▼4km速度競争
谷村晟幸　2位
▼ケイリン
谷村晟幸　2位
▼スクラッチ
谷村晟幸　2位
▼24kmポイントレース
谷村晟幸　優勝
◇ロード競技
▼個人ロードレース
谷村晟幸　2位
▼総合
谷村晟幸　3位

【北信越大会結果】
◇トラック競技
▼1kmタイムトライアル
谷村晟幸　7位
◇ロード競技
▼個人ロードレース
谷村晟幸　5位

女子バレーボール

チーム一丸 ベスト8

県高校総体女子バレーボール競技が5月31日から平成6月3日にかけて、野々市スポーツセンター等で行われ、本校女子バレー部はベスト8の結果となった。

部長の荒井麻緒さん（3年11組）は「目標のベスト4には届きませんでしたが、一人ひとりが力を出し切れた試合でした。また、コート内、コート外が一丸となり、全員で戦うことができました。応援して下さった皆様に心から感謝しています」と語った。

【県高校総体結果】
1回戦　金沢 2−1 鹿西
2回戦　金沢 2−0 小松明峰
準々決勝　金沢 0−2 金沢商業　ベスト8

声を出しチーム一丸で戦う選手たち

ハンドボール

この想い 次世代に託す

シュートを打つ野村君

県高校総体ハンドボール競技は、5月31日から6月3日にかけて小松総合体育館で行われ、本校ハンドボール部はベスト8の結果となった。

部長の中村友和君（3年3組）は「自分たちの実力は出しきることができました。結果として北信越出場に届かなかったことは心残りですが、この想いを次の世代が引き継ぎ、目標を叶えてくれることを期待します」と思いを語った。

【県高校総体結果】
◇団体
1回戦　金沢 36−23 石川高専
準々決勝　金沢 22−33 小松明峰　ベスト8

水泳

3年越しの快挙 男子総合優勝

素晴らしい結果を残し充実した表情の選手たち

県高校総体水泳競技が6月16日、金沢プールで行われ、本校は男子が総合優勝、女子はリレー種目すべて優勝という輝かしい結果を残した。

部長の木村達矢君（3年9組）は「男子が3年ぶりに優勝することができ、女子も競泳で準優勝ができました。個人競技でも全力を尽くし、インターハイへの切符を勝ち取ります」と語った。

【県高校総体結果】

◇男子個人

▼100ｍバタフライ
池田　裕（2年6組）2位
村本　成（2年3組）8位

▼200ｍバタフライ
池田　裕　4位
村本　成　7位

▼100ｍ背泳ぎ
木村達矢　2位
加藤史也（1年11組）4位
林　拳士朗（1年3組）7位

▼200ｍ背泳ぎ
木村達矢　2位
加藤史也　5位
林　拳士朗　6位

▼100ｍ平泳ぎ
川谷内雄大（3年1組）優勝
山西　空（2年12組）3位
窪田　聖（3年5組）4位

▼200ｍ平泳ぎ
山西　空　優勝
窪田　聖　2位
川谷内雄大　3位

▼400ｍ自由形
舘中侑次郎（1年13組）5位
杉山　蓮（1年5組）7位

▼1500ｍ自由形
舘中侑次郎　3位
杉山　蓮　4位

▼200ｍ個人メドレー
秋葉亮人（1年13組）3位

▼400ｍ個人メドレー
白井　和（3年1組）8位

▼400ｍメドレーリレー
木村・山西・池田・窪田　優勝

▼400ｍフリーリレー
窪田・川谷内・池田・村本　優勝

▼800ｍフリーリレー
窪田・杉山・木村・大久保知哉（2年12組）3位

男子総合　優勝
男子競泳　優勝

◇女子

▼100ｍ平泳ぎ
村上萌絵（3年8組）優勝

▼200ｍ平泳ぎ
村上萌絵　2位

▼100ｍ自由形
舘　柚希（3年7組）2位

▼200ｍ自由形
安井桃香（1組10組）優勝
舘　柚希　2位

▼200ｍ個人メドレー
村上真穂（1年8組）優勝
安井桃香　3位

▼400ｍ個人メドレー
村上真穂　優勝

▼400ｍメドレーリレー
安井・村上萌絵・村上真穂・舘　優勝

▼400ｍフリーリレー
安井・村上真穂・村上萌絵・舘　優勝

▼800ｍフリーリレー
村上真穂・舘・村上萌絵・安井　優勝

▼女子総合　3位
▼女子競泳　準優勝

陸上

男子3年連続総合優勝

勝利を称え合う男子リレーメンバー

県高校総体陸上競技は5月24日から5月26日にかけて、県西部緑地公園陸上競技場で行われ、本校陸上部は男子200ｍで金田理希君（3年10組）が21秒31、男子砲丸投で木下翔太君（3年10組）が14ｍ92の県高校新をそれぞれマークして優勝した。男子は3年連続の総合優勝と素晴らしい結果を残した。

部長の笠松広輔君（3年10組）は「目標だった総合優勝と1600ｍリレーでの大会新記録の優勝を勝ち取りました。個人でも多くの選手が入賞し、北信越大会に進む事ができました。選手それぞれの目標を意識してインターハイに1人でも多く出場できるよう頑張っていきます」と話した。

【県高総体結果】

◇男子

▼100ｍ
竹内璃生（3年10組）優勝
金田理希　2位
笠松広輔　8位

▼200ｍ
金田理希　優勝（県高校新）
竹内璃生　2位

▼400ｍ
金田理希　優勝
中山泰成（3年11組）8位

▼4×100ｍリレー
笠松・竹内・金田・山岸立輝（2年2組）優勝

▼4×400ｍリレー
笠松・竹内・谷廣隼（3年2組）・金田　優勝

▼走高跳
山田いづる（1年12組）優勝
山﨑関喜（1年13組）7位

▼棒高跳
池本礼也（2年11組）4位
増田尚希（2年9組）5位

▼走幅跳
笠松広輔　6位
山岸立輝　7位

▼砲丸投
木下翔太　優勝（県高校新）
渡辺聖司（3年10組）2位

▼円盤投
渡辺聖司　3位
卯木文也（2年6組）7位

▼ハンマー投
鶴尾昂樹（3年11組）4位
木下翔太　7位
宮森大貴（2年8組）8位

◇女子

▼5000ｍW
森下彩音（3年5組）4位

▼4×100ｍリレー
成田華（3年2組）・石倉奈々加（3年8組）・橋愛果（2年12組）・濱田麗加（1年13組）4位

▼棒高跳
林　莉子（3年3組）5位

▼砲丸投
鶴尾奈々佳（1年13組）3位
横西千奈（2年11組）8位

▼円盤投
鶴尾奈々佳　2位

▼ハンマー投
山﨑　萌（3年8組）4位
井口由架（3年11組）6位

金田 200ｍ県高校新V

北信越高校総体陸上競技は6月14日から17日にかけて福井県営陸上競技場で行われ、本校陸上部は男子200ｍで金田理希君が21秒16の県高校新をマークして優勝した。

【北信越大会結果】

◇男子

▼100ｍ
竹内璃生　3位

▼200ｍ
金田理希　優勝（県高校新）

▼400ｍ
金田理希　優勝

▼4×100ｍリレー
笠松・竹内・金田・山岸　5位

▼4×400ｍリレー
笠松・竹内・谷廣・金田　5位

▼砲丸投
木下翔太　3位

少林寺拳法

北信越出場決める

県高校総体少林寺拳法競技が6月1日から2日にかけて松任総合運動公園体育館啓武館にて行われ、本校少林寺拳法同好会は、男子組演武の竹田翔君（3年2組）、西浦稜君（3年4組）が3位となり、北信越大会出場を決めた。

部長の西浦君は「インターハイに出場できなかった悔しさを力に変え、北信越大会では良い成績を残せるよう頑張ります」と力強く語った。

気合のこもった組演舞を見せる竹田君（左）、西浦君

【県高校総体結果】

◇男子組演武
竹田　翔・西浦　稜　3位

◇女子組演武
喜多藍理（3年5組）・中邑凛子（3年8組）5位

◇女子団体演武　3位

【北信越大会結果】

◇男子組演武
竹田　翔・西浦　稜　6位

◇女子組演武
喜多藍理・中邑凛子　6位

男子バスケット

惜しくも優勝ならず

シュートを打つ坂口君

県高校総体バスケットボール競技が5月31日から6月3日にかけて志賀町総合体育館等で行われ、本校バスケットボール部は惜しくも北陸学院に敗れ、準優勝の結果となった。

部長の坂口太一君（3年10組）は「インターハイに出場することはできませんでしたが、今まで勝ったことのない相手に勝てたことは自分たちにとって大きなものになったと思います。しかしこの結果に満足せず、ウィンターカップの出場を目標に全力でプレーします」と語ってくれた。

【県高校総体結果】

2回戦　金沢106－35石川高専
3回戦　金沢80－64津幡
準々決勝　金沢60－58桜丘
準決勝　金沢80－69金沢学院
決　勝　金沢62－78北陸学院　準優勝

【北信越大会結果】

1回戦　金沢79－62高岡商業（富山）
準々決勝　金沢70－105東海大諏訪（長野）

女子はベスト8

本校女子バスケットボール競技は準々決勝で金沢西に敗れ、ベスト8の結果となった。

主将の小竹朱里さん（3年11組）は「今大会はベスト8という悔しい結果に終わってしまったので、最後の挑戦になる冬の大会では、今度こそ私たちを支えて下さる方々にこのチームが一番だという証明をしてきます」と語った。

厳しく攻め込む小竹さん

【県高校総体結果】

2回戦　金沢97－48輪島
3回戦　金沢60－55桜丘
準々決勝　金沢55－91金沢西　ベスト8

野球

昨年春に続き北信越出場

北信越地区高等学校野球石川県大会が4月21日から5月5日にかけて石川県立野球場等で行われ、本校野球部は準決勝で航空石川に敗れたが、北信越出場権を獲得した。

鋭いバッティングを見せる朝賀君

6月2日から4日まで行われた北信越大会を振り返り、主将の樫見俊佑君（3年11組）は「2回戦で敗れてしまいましたが、ここで負けた悔しさを夏の大会で晴らしたいと思います」と気合を見せた。

【北信越大会県大会結果】

1回戦　金沢10－0大聖寺
2回戦　金沢5－0遊学館
3回戦　金沢9－1桜丘
準々決勝　金沢9－0小松
準決勝　金沢1－11航空石川

【北信越大会結果】

1回戦　金沢1－0上田西
準々決勝　金沢6－14高岡商

各部の記録

卓球部

◇男子団体
1回戦　金沢0－3泉丘

◇女子団体
1回戦　金沢0－3鹿西

弓道部

◇男子団体予選　8中／40射

◇女子団体予選　20中／40射　予選4位

◇女子準決勝　22中／60射　10位

サッカー部

2回戦　金沢1－2泉丘

男子バレーボール部

◇決勝トーナメント
1回戦　金沢1－2大聖寺実業

男女バドミントン部

◇男子団体
1回戦　金沢3－0鶴来
2回戦　金沢1－3錦丘

◇女子団体
1回戦　金沢0－3遊学館

ボウリング同好会

◇2人チーム戦
金沢A　13位
金沢B　39位
金沢C　25位
金沢D　20位

特集

「本を読む」だけじゃない！ 進化する図書館

「本を借り、読む場所」という図書館のイメージが最近変わりつつある。カフェやギャラリー、調理室等を備えた複合施設型図書館は、今では市民の憩いの場として大いに賑わうスポットになっている。その一方、歴史ある資料を保管し、次代に伝えていく図書館も、このデジタル化の時代においてその存在感を増している。県内の最新と最古級の二つの図書館を取材し、違いと特色を調べてみた。

自動貸出機や図書消毒機、大型スクリーンの電子新聞が利用者に好評だ

斬新なデザインが印象的な「学びの杜ののいち カレード」

カフェや音楽スタジオも　カレード

新聞部ではまず、昨年11月に開館したばかりの「学びの杜ののいち カレード」を訪ねた。カレードは「万華鏡」に由来する言葉で、中庭から差し込む光や色とりどりの帯が銀色の天井に映え、とても美しかった。

さらに本の自動貸出機や大型スクリーンの電子新聞、図書消毒機など、最新の設備が備えられている。驚いたのは学習室が夜10時まで利用できる点で、最長3時間座席を確保できる。また、館内にはカフェが併設されており、借りてきた本を手にコーヒーを飲むことができる。

カレードには図書館だけではなく、キッチンスタジオや音楽スタジオ、創作スタジオや市民展示室も併設しており、市民が芸術に親しめる憩いの場としての役割を果たしている。

元々は野々市中央地区の賑わい創出の一環として建てられた。職員の矢嶋竜太さんによると、最近は全国的に様々な施設を兼ね備えた複合図書館が増えており、多くの住民の交流拠点となっているようだ。

キッチンスタジオも併設されている

矢嶋さんは私たち高校生に対して、「読書をすると視野が広がります。若い人は是非多くの本を読んでみてください」と話してくれた。

重要な資料を多数保管　県立図書館

次に私たちが訪れた県立図書館は、1912（明治45）年に現在の兼六園にて開館した。1966（昭和41）年に現在の場所に移され、歴史は100年以上になる。この図書館はまさに「石川県の図書館の中心的な存在」と言えるだろう。その理由は2つある。

1つ目は、本の検索システムが優れていることだ。もし、探したい本が近くの図書館になかった場合、県立図書館が提供する横断検索システムを利用することで、県内の他館の蔵書から探したい本を見つけ、借りることができる。

しかも、県内で見つけることができなかった時は、連携している東海北陸地区の図書館から、本の取り寄せをしてもらうことも可能である。便利なシステムだが私たち高校生にはあまり知られていないようで、多くの人に知ってもらえれば読書をより身近に感じる足がかりとなるのではないかと思う。

2つ目の理由は、保存図書館としての役割を果たしていることだ。現在の蔵書数は約85万冊で、これは県内の図書館では最多である。石川の文献や郷土資料を、長年にわたって集約したことによって成し遂げた数字だ。実際に書庫を案内してもらうと、膨大な書籍が整然と保管されており、改めて歴史の深さに感銘を受けた。

街の中心にあるこの図書館は住民のほか、県外の観光客も訪れる。建物はレトロな雰囲気に溢れ、自習室も落ち着いた雰囲気で集中できそうだ。副館長の高嶋厚子さんは「利用者の方が求める書籍や情報を的確に提供していきたい」と語ってくれた。

県立図書館の書庫を案内してくれる高嶋副館長

金沢の観光地の中心に位置する県立図書館

県のホームページによれば、県立図書館は移転が計画されており、さらに「知的な活気にあふれたアクティブな図書館」を目指すそうだ。新しくなる県立図書館にも、今後期待が高まる。

図書館へ行こう！

二つの図書館を取材して、図書館が「読書をする場所」としてだけでなく、多様な目的で使われていることが分かった。建てられた時代も、施設内容もまるで違った二つの図書館だったが、どちらも地域との結び付きを大切にし、社会の変化に対応して発展を続けている。高校生は勉強も部活も忙しく、なかなか図書館に行くという時間はないかもしれない。しかし、この記事をきっかけに是非図書館に出向いてみてほしい。新しい本との出会いはもちろん、地元にある図書館の個性と努力を知ってもらえると思う。

★★アメリカ海外研修に27人参加★★　現地の高校で異文化を学ぶ

本校の海外研修は3月10日から22日まで、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで行われ、27人の参加者が異文化体験を通じて国際的な視野を広げた。

お世話になったホストファミリーと

ホストファミリー

未知なる世界に夢を膨らませ、アメリカの地に到着した生徒たちは、ホームステイ先のホストファミリーとすぐに打ち解け、英語で親しく会話する姿が見られた。

現地ではバディと呼ばれる世話係の高校生と一緒に、現地の高校で授業を体験した。さらに授業のほかにもダンスや、スペイン語、中国語を学ぶ機会があり、さまざまな異文化経験を楽しんだ。

期間中はホストファミリーと「シーワールド」などのテーマパークに行ったり、巨大なショッピングモールに訪れたりするなど、存分にアメリカ生活を満喫していた。

現地の高校で授業を体験した

Bonjour（こんにちは）カミーユ！

本校では4月からフランス出身のカミーユ・ティバルさんが2年4組の留学生として、学び舎を共にしている。仏・英・日の3か国語を話し、本校での生活にも馴染んで、充実した日々を送っているカミーユさんの今の思いを聞いてみた。

夢を追い求め日本へ

カミーユさんが日本への留学を決めた理由は、「フランスとは違う生活をしてみたかったことと、日本のアニメの文化を体験したかった」という思いからだった。実際日本に来て、「アニメイトに行ったのが楽しかった」と、うれしそうに語り、「ジブリ」をはじめとする日本のアニメに魅了されているようだ。将来の夢はゲームのデザイナーもしくはアニメーターになることらしい。

日本の学校について聞くと、「制服があることや、教室で食事をすることに驚いた」という。フランスには制服がなく、昼食もカフェテリアで食事を済ませるようだ。

カミーユさんに母国の魅力を聞いてみると、世界遺産のモン・サン・ミッシェルの絶景、ピレネー山脈等の自然がすばらしいと語ってくれた。

カミーユさんは来年1月までの期間、本校で世界史や日本史、書道を重点的に学ぶつもりで、日本の文化に慣れ親しみたいと語っていた。皆さんもカミーユさんを見かけたら、気軽に話しかけてほしい。

フランスと日本との違いについて語るカミーユさん

編集後記

今号が自分として最後の新聞部の活動となりました。締め切りに追われながらも部員で一丸となり完成させられたことは、今となれば楽しい思い出です。自分が作った文章を多くの方々に読んでもらえる新聞部の活動を通して、たくさんの充実した経験をさせていただきました。取材や編集に協力いただいた多くの方々に心から感謝申し上げます。

仮坂　美香子（3年2組）

今回の新聞の作成は後輩の指導という仕事も加わって、今までより忙しかったと感じます。しかし、みんなで協力して新聞を完成させた時の達成感はいつも以上でした。このチームワークで引き続き頑張って新聞を作成したいと思います。

西田　京平（2年2組）

自分自身2回目の新聞作成となったのですが、前回の作成の反省を踏まえ計画性を持って活動することができました。部員が増え、協力し、完成させた時の達成感は大きかったです。今後の活動も協力することを大切にしていきたいと思います

則竹　孝哉（2年3組）

入部して初めての新聞作りということで、大変なことは想像していたのですが、トラブルもあり想像以上の大変さでした。しかし、協力して新聞を作り上げられたときの達成感は非常に大きかったです。

松岡　直哉（1年1組）

部員になって初めての新聞作りの中、たくさんの手助けをしてくださった先輩方、先生方に心から感謝しています。まだまだこれからですが、教わったことを忘れず、次回以降の活動に活かして頑張っていきたいと思います。

越田　涼子（1年4組）

部員募集中!!